

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年12月17日(2009.12.17)

【公開番号】特開2008-110044(P2008-110044A)

【公開日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【年通号数】公開・登録公報2008-019

【出願番号】特願2006-294627(P2006-294627)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 3

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月30日(2009.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域を有し、当該遊技領域に向けて遊技球が打ち込まれる遊技盤と、

前記遊技盤の遊技領域に設けられ、前記遊技領域に向けて打ち込まれた遊技球を受け入れ困難な閉状態と当該閉状態よりも遊技球を受け入れ容易な開状態との間で開閉動作可能な開閉装置と、

前記遊技領域に設けられる第 1 の始動口と、

前記遊技領域に設けられ、可動部材を有し、該可動部材が動作するときのみ遊技球の入球が可能とされる第 2 の始動口と、

前記第 1 の始動口への遊技球の入球があったか否かの判断を行う第 1 の始動判断手段と

、

前記第 1 の始動判断手段により前記第 1 の始動口への遊技球の入球があった旨判断されることに基づいて前記可動部材の動作契機となる第 1 の当たりについての当落にかかる抽選処理を行う第 1 の抽選手段と、

前記第 1 の抽選手段による前記抽選処理にて前記第 1 の当たりが当選されたとき、前記第 2 の始動口への遊技球の入球が所定時間だけ可能となるように前記可動部材の駆動制御を行う駆動制御手段と、

前記第 1 の当たりの当選に応じた前記駆動制御手段による駆動制御によって入球可能とされた前記第 2 の始動口に遊技球の入球があったか否かの判断を行う第 2 の始動判断手段と、

前記第 2 の始動判断手段により前記第 2 の始動口への遊技球の入球があった旨判断されることに基づいて役物当たり及び大当たりのいずれかが必ず当選される抽選処理を行う第 2 の抽選手段と、

前記第 2 の抽選手段による前記抽選処理にて前記役物当たりが当選されることに基づいて前記開閉装置が開閉動作される役物当たり遊技を行う役物遊技実行手段と、

前記開閉動作された前記開閉装置に遊技球が入球されたとき、特別領域及びハズレ領域を含む複数の受入領域のうちの前記特別領域に該入球された遊技球が振り分けられるか否かについての振分け抽選を行う機械抽選装置と、

前記開閉装置に入球された遊技球が前記複数の受入領域のうちの前記特別領域に振分け

抽選されること、及び前記第 2 の抽選手段による前記抽選処理にて前記大当たりが当選されること、のいずれかの条件が満たされることに応じて、前記役物当たり遊技よりも遊技者に有利な大当たり遊技を行う第 2 の特別遊技実行手段と、を備える遊技機であって、

前記開閉装置内には、

前記開閉動作された前記開閉装置に遊技球が入球されたとき、該入球された遊技球を当該開閉装置内の前記機械抽選装置へと通じる通常経路上にて停留させる一時保持装置と、

前記一時保持装置により遊技球が停留されてから所定の停留時間が経過したとき、前記一時保持装置による遊技球の停留を解除する停留解除手段と、

前記停留解除手段によって前記停留の解除された遊技球が前記機械抽選装置へと向かうときに流下する抽選前通路と、

前記抽選前通路を流下する遊技球を当該抽選前通路中にて不規則に流下せしめる乱流生成装置と、が設けられてなる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第 1 の抽選手段は、前記第 1 の始動判断手段により前記第 1 の始動口への遊技球の入球があった旨判断されることに基づいて乱数を取得し、該取得した乱数に基づいて前記第 1 の当たりについての当落にかかる抽選処理を行うものである

請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記第 2 の抽選手段は、前記第 2 の始動判断手段により前記第 2 の始動口への遊技球の入球があった旨判断されることに基づいて乱数を取得し、該取得した乱数に基づいて前記役物当たり及び大当たりのいずれかが必ず当選される抽選処理を行うものである

請求項 1 または 2 に記載の遊技機。